

日時：2023年7月9日（日）14:00～16：40

場所：山梨大学東京オフィス平河町会議室

日本パーソナリティ心理学会第152回常任理事会議事録

出席：松田英子理事長、尾見康博副理事長、小塩真司、文野 洋、田中麻未、中村 真、向田久美子、森 津太子、武田美亜

※ 第32回大会準備委員会より岡田努委員長が準備状況報告ならびに各種打ち合わせを行うためzoomで参加（審議事項IVのみの出席）

報告事項

I 理事長挨拶

II 各種委員会報告

1 機関誌編集委員会（小塩委員長）

(1) 機関誌掲載情報

第32巻2号が2023年11月に発行予定（2023年8月末までに採択された論文を掲載予定、現在原著2篇、ショート5篇が決定済み）である旨の報告があった。

(2) 審査状況

以下の通り、2022年からの審査状況（7/3時点）について報告があった。

年月	採択	審査中	修正中	不採択	取り下げ	投稿時不採択	投稿数
2022							
1	2	6	4	1	0	0	4
2	3	6	2	0	0	0	5
3	2			2	0	0	7
4	2			2	0	0	4
5	2			4	0	0	6
6	1			2	1	0	4
7	5			1	0	0	3
8	2			2	0	1	0
9	3			1	1	1	1
10	2			0	0	0	3
11	0			0	0	0	9
12	4			1	1		7
計	28	12	6	16	3	2	53
年月	採択	審査中	修正中	不採択	取り下げ	投稿時不採択	投稿数
2023							
1	0			0	0	0	5
2	2			2	0	0	5
3	7			1	0	0	5
4	2			1	0	0	8
5	4			3	0	0	2
6	1			0	1	0	7
7	1						

年度	採択	不採択	取り下げ	投稿数
2008	35	15		
2009	31	20		
2010	31	16		
2011	30	17		
2012	36	22	5	84
2013	28	16	5	64
2014	24	25	9	72
2015	33	26	3	71
2016	30	30	12	68
2017	29	25	7	81
2018	35	30	10	78
2019	33	40	8	79
2020	33	30	6	79
2021	31	19	8	57
2022	28	19	3	53
2023	17	7	1	32

2 経常的研究交流委員会（田中委員長）

第32回大会での大会準備委員会・経常的研究交流委員会合同企画とMPPについて、企画の詳細が以下の通り報告された。

(1) 招待講演

"Relations of Persons and Environments: Interactions, Correlations, Fits, and Transactions"

「人と環境の関係性：相互作用、相関、適合、トランザクション」

講演者：Dr. John F. Rauthmann (Ludwig Maximilians Universität München)

司 会：松木祐馬先生 (中部大学)

(2) MPP 企画：大会 2 日目 (9/10、11：30～12：45)

テーマ：「これって普通ですか？ー心理学教員としての働き方ー」

心理学教員の仕事に関する疑問や話題を中心に、参加者の皆様と大学でのさまざまな仕事をうまく進めるためのコツについて意見交換し合いながら、異なる環境や視点から大学教員としての働き方を考え、理解を深めていくことを企画しています。

また、海外からの招聘講演者 (Rauthmann 先生) に対する謝金及び旅費・宿泊費の支払い方法について、申し合わせた。

### 3 広報委員会 (文野委員長)

YPP 企画の詳細について、資料に基づき報告された。

開催日時：2023 年 9 月 8 日 (金)

会場：金沢歌劇座

参加費：無料

実施する企画：1. 若手研究者の多様な実情共有

2. ミニ研究紹介セッション

主催：日本パーソナリティ心理学会広報委員会

委員長：文野 洋 (文京学院大学)

YPP 担当委員：【2023. 4. 1 より】田口 恵也 (大阪大学大学院)、磯和 壮太郎 (名古屋芸術大学)、山本 琢俣 (早稲田大学)

【2023. 3. 31 まで】嘉瀬 貴祥 (人間環境大学)、森 彩乃 (目白大学)、吉田 恵理 (神奈川大学)

企画担当：萩原 千晶 (早稲田大学・企画担当代表)、加藤 伸弥 (武蔵野大学)、戸田 晃大 (九州大学)、海野 利文 (早稲田大学)

#### <企画全体の目的>

新型コロナウイルスの影響は今もなお、我々の研究活動にも甚大な影響を及ぼしている。しかしその一方で、昨年度からパーソナリティ心理学会の大会 (2022 年度沖縄自治会館開催) も対面で開催される等、一部ではあるが、少しずつ日常を取り戻しつつある。

新型コロナウイルスが流行した 2020 年度以降、ヤングサイコロジストプログラム (YPP) は、オンライン開催を余儀なくされてきた。しかし本年度の YPP (YPP2023) は、本大会が対面開催される方針が早期に出されていることを受け、2019 年度ぶりの対面開催を予定している。YPP はオンライン開催中においても、様々な心理学領域の若手研究者が集い、互いの研究内容や研究に対する姿勢について意見交換する場を提供してきた。それでもオンラインでの交流には限界があり、対面での交流に比べて希薄なものになりやすいと考えられる。そこで、久しぶりの対面開催となる YPP2023 では、若手研究者同士の交流が中心となる内容のプログラムを行う予定である。メインテーマは「**研究仲間とイマを語り合うー久しぶりの対面交流ー**」とし、研究生活の実情を若手研究者同士で共有してもらうことを通して、久しく行われていなかった対面での交流を促進することを目的とする。「イマ」には、現在の肩書や研究実績という観点のみならず、心の内で現状感じていることや、種々の課題と現在進行形で向き合っていることなどを含めて、参加者

それぞれの多様な“イマ”を想定してもらいたいという願いを込めている。

YPP2023 では、次の2つの企画を実施する。企画1では、参加者同士で班を構成し、研究生生活の過ごし方や研究の進め方、研究遂行における躓きといった実情などを研究生生活に関わる情報共有をしてもらい、アイスブレイクおよび交流を促す。交流の前には企画担当がスライドを用いて自身の経験を話す時間を設ける。企画2では、「ミニ研究紹介セッション」を実施する。こちらでは自身の研究テーマや関心を紹介しあうことを目的に、参加者には事前に資料を用意してもらい、班ごとに発表を行ってもらう。企画1、企画2はいずれも交流を促進する役割を担う。

#### 4 学会賞選考委員会（向田委員長）

学会賞1本（第31巻3号掲載『考え続ける義務感の低減をターゲットとしたメタ認知療法の効果検証』向井秀文・杉浦義典）、奨励賞は該当なしとする旨の提案があり、審議の結果、同案が承認され、受賞論文を決定した。

### III 日本心理学諸学会連合

尾見副理事長より、6月10日（土）に開催された総会への参加報告があった。

### IV その他

特になし

## 審議事項

### I 財務関連事項について

森財務担当常任理事より、前回会議を受けて修正された2023年度予算案が示され、審議の結果、承認された。次回常任理事会までにJPASSに予算案の詳細を確認してもらうこととした。

### II 会員の入退会に関する件

中村事務局長より、別紙資料に基づいて、入会希望者4名（ML審議にて承認済み3名、再入会希望1名）、退会者1名（2022年度末の退会を希望）が示され、審議の結果、承認された。併せて、宛先不明者について報告があった。

以上の承認を受けて、2023年7月4日現在、会員総数は871名である（今回承認された再入会希望者2名は含まれない）。内訳は、一般会員683名、院生会員173名、学生会員3名、名誉会員8名、賛助会員4名。

### III 故 詫摩武俊先生のご家族より拝受した寄付金の使途について

中村事務局長より、本学会初代理事長 故 詫摩武俊先生のご家族より拝受した寄付金を学会賞（以下の①）の基金とし、同賞の副賞として授与する賞金に充てることが提案され、審議の結果、承認された。

学会賞は①学会賞と②奨励賞からなるが、①の名称を「詫摩武俊賞（優秀論文賞）」に、

②を「奨励論文賞」に変更する。併せて各賞の英語名称を定めることとした。

これにともない、学会賞規程を一部改定する必要がある。規定の改定については継続審議として、次回常任理事会で詳細を検討することとした。なお、寄付金分を全て執行した後も、学会誌と学会賞が存続する限りは「詫摩武俊賞」の名称は存続させることが提案され、審議の結果、承認された。

この寄付金は、2024年度予算で基金として計上することとした。

#### IV 第32回大会の準備進捗状況について

岡田大会委員長より、大会の準備進捗状況についておおむね順調に進んでいる旨報告があった。併せて、大会スケジュール等について確認を行った。

今後、(公財)金沢コンベンションビューローの協力を得て、旅行パンフレットなどの配布、金沢駅と小松空港にデジタルサイネージが設置される予定。

#### V 第33回大会主催校について

松田理事長より、筑波大学の外山美樹先生が大会委員長を引き受けてくださることが報告された。開催日程は未定。

#### VI 次期役員選挙について

中村事務局長より、委員構成(予定)、スケジュール、実施方法、通知の発送をJPASSに依頼することなどについて、提案された。審議の結果承認された。

#### VII 本学会における学部生の学会発表の可否、副理事長の職務、大会発表賞の選考方法について

尾見副理事長より、次回以降に現状報告と提案がなされる予定。

#### VIII その他

会員からの研究倫理に関する問い合わせについて、常任理事会で対応を検討し、結果を会員に返信することとした。

#### IX 次回常任理事会の日程について

8月7日(月)15:00～ オンライン

理事会、総会向けの資料の確認をする予定。

以上